



古河地区ケアマネだより

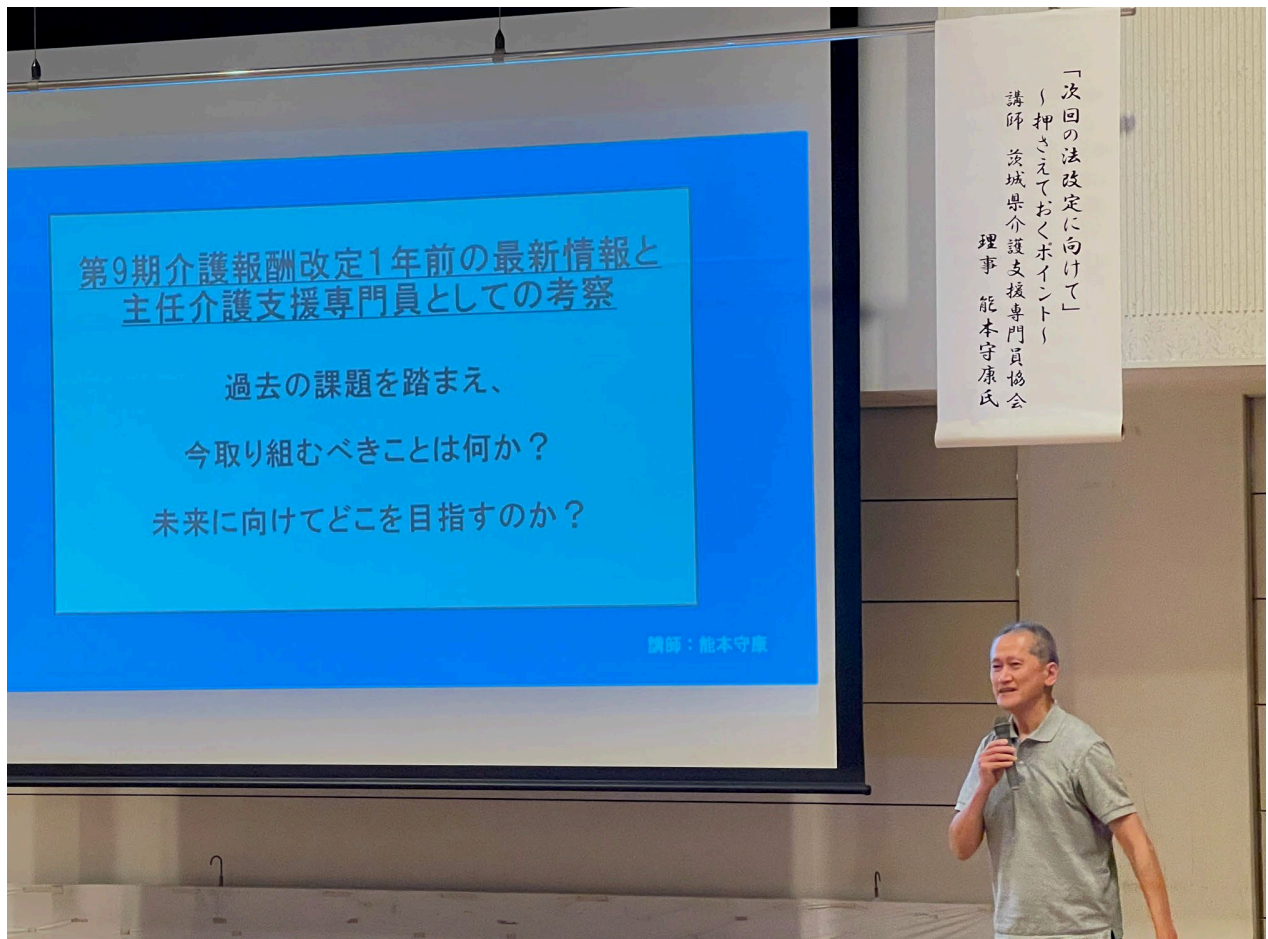
第 77 号

茨城県介護支援専門員協会古河地区会 事務局:古河市社会福祉協議会
令和 5 年 6 月発行 TEL:0280-47-0150 FAX:0280-48-0265 HP URL:http://www.koganet.ne.jp/~care/

令和 5 年度茨城県介護支援専門員協会古河地区会 第 1 回研修会

令和 5 年 5 月 20 日(土)茨城県介護支援専門員協会古河地区会第 1 回研修会が開催されました。令和 4 年度はコロナ禍であり、Zoom での開催となってしまいましたが、今回はコロナが 5 類に移行されたことで、久しぶりに福祉の森会館に集まり、研修会を開催する事が出来ました。和気あいあいとした雰囲気の中、当日 75 名のケアマネジャーのご参加をいただきました。

研修テーマは「第 9 期介護報酬改定 1 年前の最新情報と主任介護支援専門員としての考察」(過去の課題を踏まえ、今取り組むべきことは何か? 未来に向けて何処を目指すのか?) として、日本介護支援専門員協会常任理事 能本守康氏よりご講演いただきました。



過去の課題について

「ケアマネジャーの資質向上と今後の在り方に関する検討会における議論の中間的な整理」(2013年)

- 介護保険の理念である「自立支援」の考え方が十分共有されていない。
自立とは？それを支援するとは？
- 利用者像や課題に応じた適切なアセスメントが必ずしも十分でない。
なぜアセスメントが弱いのか？そもそもアセスメントとは何か？
どのように行うべきか？基礎資格による見立てのズレは無いのか？
- サービス担当者会議における多職種協働が十分に機能していない。
連携とは何か？効果的な多職種連携方法は？
連携、協働における介護支援専門員の立ち位置と役割は？
- ケアマネジメントにおけるモニタリング、評価が必ずしも十分ではない。
なぜモニタリングが不十分なのか？そもそもモニタリングとは何をやる事か？
多職種によるモニタリングの役割分担とルートの確保は出来ているか？
- 重度者に対する医療サービスの組み込みをはじめとした医療との連携が必ずしも十分でない。
医療サービスは適切に導入されているか？医療機関との連携は確保されているか？
基礎資格による苦手意識はないか？
- インフォーマルサポートや介護保険外のサービスのコーディネート、地域のネットワーク化が必ずしも十分できていない。
インフォーマルサービスとは何か？地域にある資源をどの程度把握しているか？
それらの資源とどう繋がるか？

◎一つ一つの議論において、能本先生より解りやすい説明があり、過去の課題について共に振り返りを行う事が出来ました。

次に、現在の課題について

- 社会保障給付費の推移
1990年に47兆円⇒2022年には131兆円の給付費総額となっている。
- 今後、市町村で健康維持に取り組む体制が重要となる。
- 要介護別認定者数認定者数の推移
要介護（要支援）の認定者数は平成30年4月現在644万人で、この18年間で約3.1倍になっている。このうち軽度の認定者数の増が大きい。また、近年、増加のペースが再び拡大している。

◎介護給付費は年々増加傾向にあり、増減の鍵を握る役割を担う介護支援専門員の任務は今後も重要視されていくと思われる。

社会 保 障

- 利用者負担の見直し⇒今後、2割負担の方が増えていくと思われる。
- ケアマネジメントの利用者負担の導入
⇒時期改定では見送り。第10期までに結論を出すよう言われている。
- 地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）のあり方の見直し
- 軽度者へのサービスの地域支援事業への移行等

そして、未来にむけて

【直近で克服すべき介護支援専門員の課題】

- 自立に資するケアマネジメントの標準化と質の評価をどうするか？
- 主体性の尊重・公平性・中立性をどう実践するか？
- 更なる医療連携をどう推進するか？
- 科学的ケアマネジメントをいかに実践できるか？
- ICT、AIの活用は業務負担軽減か更なる高みを目指すのか？
- 地域共生社会におけるケアマネジメントをだれがどう担っていくか？
- 国家資格として社会的信頼と評価をどう勝ち取るか？

～そして、私たちの目指すもの～

制度改正や報酬改定は介護保険制度という仕組みの中の出来事。
制度は一つの手段であり「型」に過ぎない。
利用者の生活は様々な手段を用いて支援すべきもの。

3年ごとに一喜一憂、右往左往して、制度に利用者の生活を
当てはめるようなことをしてはならない。

私たちの目指すべき“ビジョン”は、真のケアマネジャーとして
制度を超え、幅広く人を支援するための存在をして
羽ばたく姿ではないか

ケアマネジメント

「人をつなげる」

だから

アソシエーション

「私たちはつながる」

未来永劫、ケアマネジメントは、私たちケアマネジャーが行う仕事であるために。



古河「認知症の家族の会」

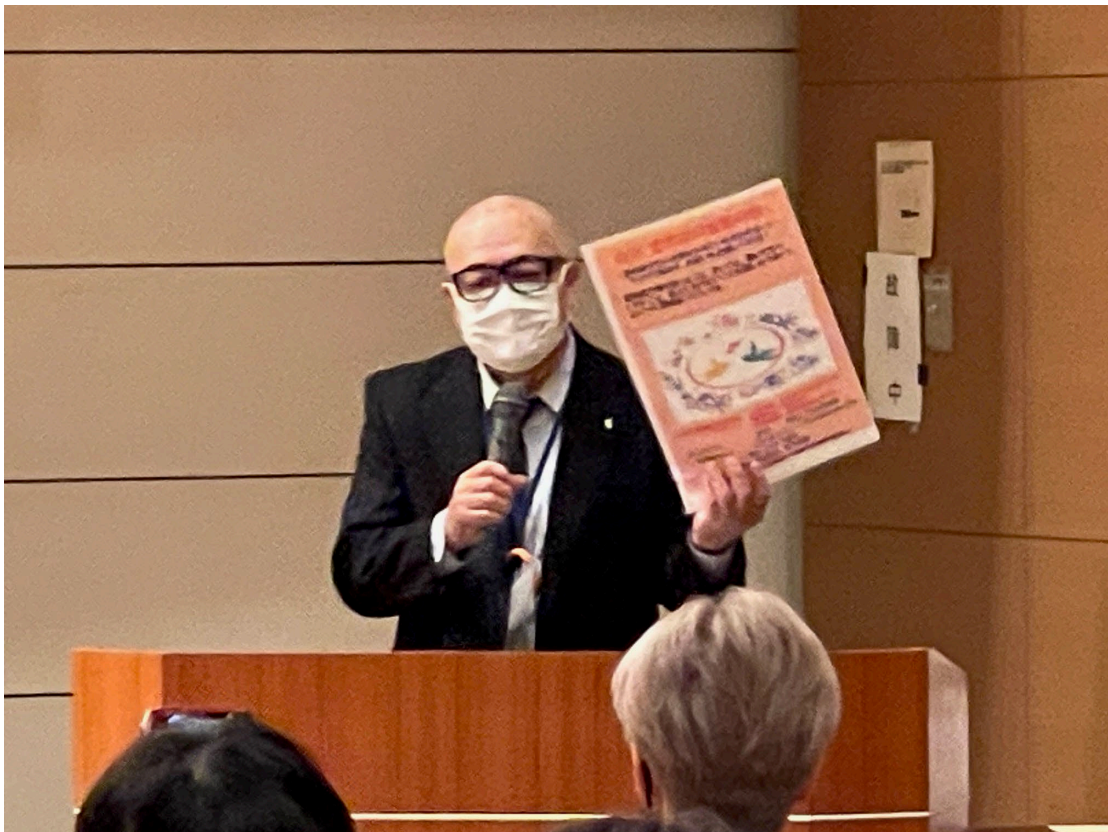
～認知症の方の介護をされている方のサポート～
ひとりで悩まず、お思いをお話してください。

古河「認知症の家族の会」認知症介助士 岩下太郎様により、認知症に悩む家族の方向けのお話を頂きました。

岩下太郎様は認知症である要介護5の奥様とご夫婦二人で生活をされており、奥様の介護をしながら、集いの場を作り、認知症に悩むご家族の方々の相談に乗っておられます。

集いの場では、自身の体験談をお話しして下さり、参加された方の「ご自宅で困られている事」について参加された方々と話し合いを行い、「ひとりで悩まず、皆で支え合いながら前向きに頑張りましょう。」とお声かけを行って下さっています。

医療従事者、介護従事者の方々の参加も可能ですので、是非一度足を運んでみてはいかがでしょうか？



古河「認知症の家族の会」
(つどい)

古河会場
総和会場
三和会場

ヤクルトはなももプラザ
健康の駅
三和地域福祉センター

オレンジカフェ
(認知症カフェ)

雷電
おたまじゃくし

雷電二丁目自治会館
ヤクルトはなももプラザ

Koga care manager

【令和4年度 茨城県介護支援専門員協会 古河地区会 決算書】

① 収入

(単位:円)

科目	予算	決算	増減	備考
会費	125,000	115,000	-10,000	個人会議 1000 x 95 名 賛助会費 10000 x 2 事業所
地区活動費収入	21,000	30,000	9,000	県介護支援専門員協会より
雑収入	3,000	41	-2,959	預金利息他
繰越金	250,852	322,906	72,054	
合計	399,852	467,947	68,095	

② 支出

(単位:円)

科目	予算	決算	増減	備考
事務費	30,000	1,430	-28,570	振込手数料等
会議・研修日	50,000	28,574	-21,426	研修会費、案内発送代
事業費	180,000	235,800	55,800	会報の発行、ホームページ 経費講師謝金
予備費	139,852	0	-139,852	
合計	399,852	265,804	-134,048	

* 収入合計 467,947 - 支出合計 265,804 = 差引残高 202,143 (次年度に繰越)

【令和5年度 茨城県介護支援専門員協会 古河地区会 予算書】

① 収入

(単位:円)

科目	予算	前年度予算額	増減	備考
会費	100,000	125,000	-25,000	個人会議 1000 x 80 名 賛助会費 10000 x 2 事業所
地区活動費収入	30,000	21,000	9,000	県介護支援専門員協会より 300 X 100 名 (昨年実績)
雑収入	1,000	3,000	-2,000	研修会参加費等
繰越金	202,143	250,852	-48,709	
合計	333,143	399,852	△66,709	

② 支出

科目	予算	前年度予算額	増減	備考
事務費	30,000	30,000	0	振込手数料等
会議・研修日	50,000	50,000	0	研修会費、案内発送代
事業費	180,000	180,000	0	会報の発行、ホームページ 経費講師謝金
予備費	73,143	139,852	△66,709	
合計	333,143	399,852	△66,709	

Koga care manager

【令和5年度 茨城県介護支援専門員協会 古河地区会 役員名簿】

役員名	氏名	所属	選出地区
会長	赤荻 栄一	古河福祉の森診療所	
副会長	渡邊 久江	愛光園居宅介護支援事業所	古河地区
副会長	木村 貴政	ウエルシア介護サービス古河	古河地区
幹事	有我 きみ子	ケアマネジメントありが	総和地区
幹事	田宮 貴志	古河総合病院居宅介護支援事業所	古河地区
幹事	罔府田 貴治	みどりの里指定居宅介護支援事業所	三和地区
幹事	渡辺 喜代美	けやきの舎居宅介護支援事業所	三和地区
幹事	橋本 美千子	五霞町地域包括支援センター	境猿島地区
監事	坂野 純子	ケアプランセンターこころ	総和地区
監事	瀧本 喜子	ファミリー境居宅介護支援事業所	境猿島地区
事務局	石川 美紀	古河市社会福祉協議会	

～ケアマネ業務について～

今年の3月から、ウエルシア介護サービス古河でケアマネジャーとして勤務させて頂いております。結婚して子育てをしながら、何か資格を取って仕事をしたいと思い、ヘルパー2級を取得した事から介護の道へ進む事になりました。初めて勤務したデイサービスでは利用者様から色々勉強させて頂き、利用者様との時間がとても楽しいものとなりました。デイサービスでの経験を活かし、利用者様一人一人により合った仕事がしたい、スキルアップしていきたいと思い、ケアマネジャーを目指し資格を取得しました。ケアマネジャーに就いて3か月が経ちましたが、利用者様やご家族様との関係はより密になり、様々なケースがありました。勤務していく中、ウエルシアの事業所の中では4人で自然とディスカッションが始まり、経験豊かな先輩たちとのディスカッションは自分の悩みも少しずつ解消でき、自分の成長にもつながりました。

これからも自分を磨きながら、地域の特性を理解し、利用者様から信頼して頂けるような地域に貢献できるケアマネジャーになっていきたいと思っております。

ウエルシア介護サービス古河所宅介護支援事業所 中里 美紀

○福祉用具お気軽にご連絡ください○

KSS 株式会社三和サクセス

茨城県古河市仁連 1493-25
TEL:0280-76-2558
FAX:0280-76-2495



ウェルケアシステム株式会社

茨城県古河市上辺見 2826-2
TEL:0280-33-6330
FAX:0280-33-6339

《編集後記》

今回のケアマネだよりは、令和5年度茨城県介護支援専門員協会古河地区総会及び、能本守康先生を講師にお招きし「第9期介護報酬改定1年前の最新情報と主任介護支援専門員としての考察」をまとめさせて頂きました。

今回の研修を通して、ケアマネジャーとしての基本理念を再確認でき、次期改定に備えたケアマネジメントの心構えを改めて確認することができました。

Koga care manager